



津田浄水場



市民避難訓練

### Ⅲ 基本計画

将来像  
3

みんなで作る  
安全・安心で快適に暮らせるまち

## 施策15 災害に強いまちをつくる

### 現状と課題

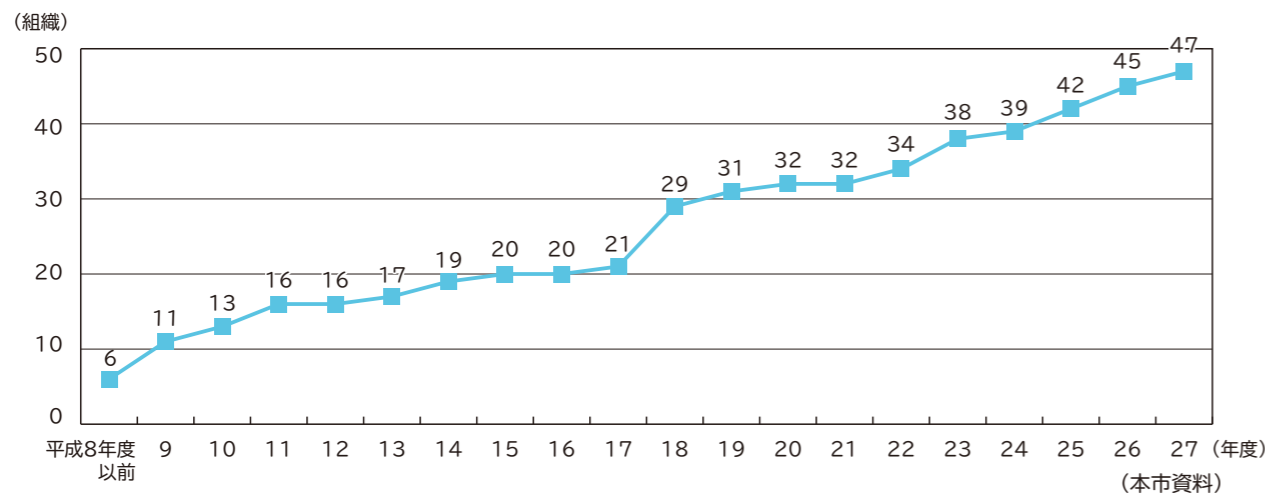
南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、本市においても津波により沿岸部市街地の一部が浸水すると想定されており、災害対応体制の強化や備蓄物品の拡大を進めています。

市内の小・中学校はすでに耐震化が完了しましたが、防災拠点や避難所として利用される建物、道路や橋梁などその他の公共施設においては、耐震化工事の実施等による大地震に対する備えが必要な状況です。

災害時の対応では、消防・警察・自衛隊など、防災関係機関との連携強化を図るとともに、広域救援部隊受入拠点を整備する必要があります。

災害時の被害を最小限に食い止めるためには、市民主体による災害に備えた取組みの強化や、自助意識の向上、災害時要配慮者に対する支援体制の構築、自主防災力の向上等が必要です。

#### ■自主防災組織数の推移



### 10年後の目標

行政・市民・事業所・ボランティア団体等が相互連携や相互支援を強め、災害時に互いに助け合う、安心して暮らせるまちになっています。

市民、事業所等は、「自らの生命は自ら守る」「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを防災の基本として、災害に対する不断の備えを怠らない、防災力の高いまちになっています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 市役所本庁舎は、大規模災害発生時においても、防災拠点の中核機能を果たせるよう必要な対策を講じます。
- 市の公共建築物は、大規模災害発生時においても避難所等としての防災機能を維持できるよう、必要な対策を講じます。
- 道路や橋梁などは、大規模災害発生時においても、地域緊急交通路としての輸送経路や避難経路を確保できるよう、機能維持のため必要な対策を講じます。
- 木造住宅密集市街地において、延焼遮断空間や安全な避難路を確保するため、老朽空き家の除却や住宅の耐震化を支援・推進します。
- 「せんごくの杜」防災広場は、災害時に自衛隊や警察、消防などの救助救援活動の防災拠点として活用し、災害時における自衛隊などとの連携強化を図ります。
- 沿岸部の浸水防除のため、雨水ポンプ場等の整備と適切な維持管理に努めるとともに、関係機関と連携し、津波浸水対策を推進します。
- 防災出前講座の開催や啓発チラシの配付、防災訓練実施などの活動をより一層充実します。
- 災害時に支援が必要な要配慮者に対し、すべての地域で支援体制が構築できるよう、行政・市民・福祉事業所・ボランティア団体等の連携を強化します。
- 災害発生時の情報伝達や情報収集について、ICTを活用した市民との双方向通信型の減災コミュニケーションづくりに努めます。
- 災害に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを基本とした地域づくりのため、自主防災組織の組織率向上を図ります。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 「自らの生命は自ら守る」ことを基本とした防災意識向上のため、研修会や地域防災訓練に積極的に参加します。
- 災害に備え、各家庭内で食料・飲料水・その他日用品などの備蓄を行います。
- 住宅の耐震化に取り組むとともに、老朽空き家や空き地を適正に管理します。
- 町会・自治会などでは、要配慮者に対する災害時支援体制を構築するとともに、地域ぐるみで防災意識の向上に取り組み、地域防災力を強化します。
- 水利組合はため池や水路の点検を行い、浸水被害の防止に努めます。
- 事業所は防災対策の強化を図るとともに、食料・飲料水・毛布・その他日用品の社内備蓄を行います。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策12 市民主体の福祉活動を活性化	○防災活動をきっかけとした地域のつながりを強化する。
施策16 即時対応できる消防・救急体制を構築	○災害発生時等緊急時の体制を強化する。
施策37 公共施設等を効果的・効率的に維持・管理	○避難所の安全性の確保のため、公共施設の耐震化などを行う。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
公共施設の耐震化率	市の公共施設（インフラ関連施設を除く）のうち耐震基準を満たした施設の延床面積の割合	71.4% (平成27年度)	↑
自主防災組織数	地縁団体単位の自主防災組織数	47組織 (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市地域防災計画、第3次貝塚市中長期下水道整備計画



# 施策16 即時対応できる消防・救急体制を構築する

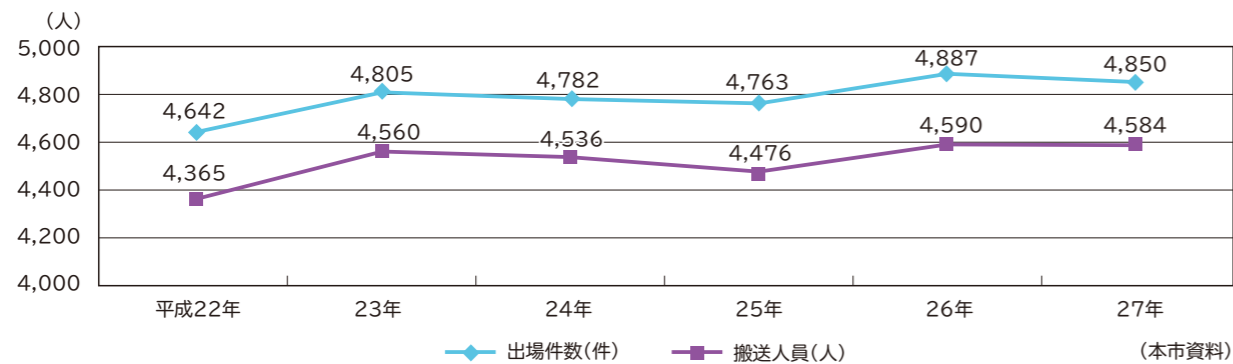
## 現状と課題

本市の火災発生件数は近年ほぼ横ばいですが、あらゆる災害に備えた消防力の充実強化が求められています。また、消防団の組織強化、市民や事業所による防火対策や初期消火体制の強化など、市民との協働により火災や災害による被害の防止・軽減が必要です。

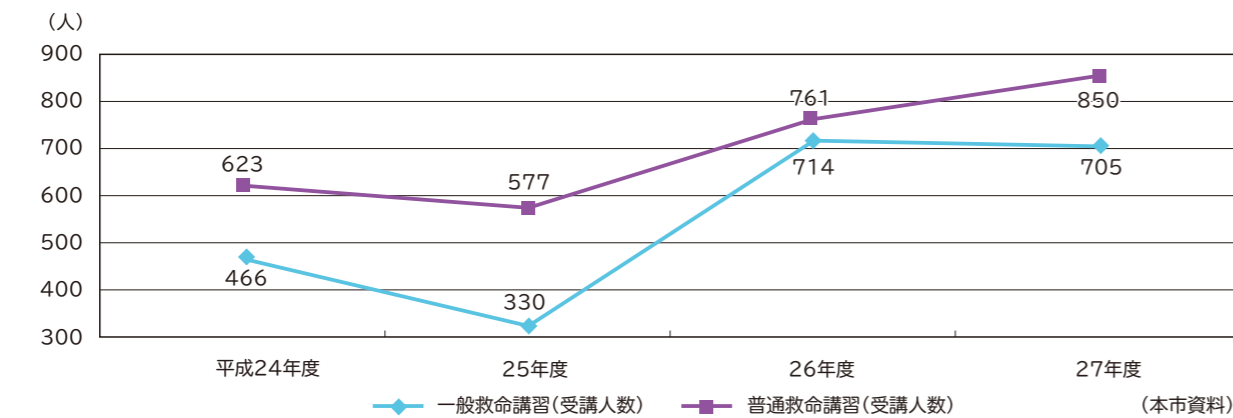
一方、高齢化に伴い救急需要は年々増加しており、救命率を低下させないよう、救急体制の整備と装備の充実を進める必要があります。

また、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に対する備えとして、消防広域連携の推進が必要です。

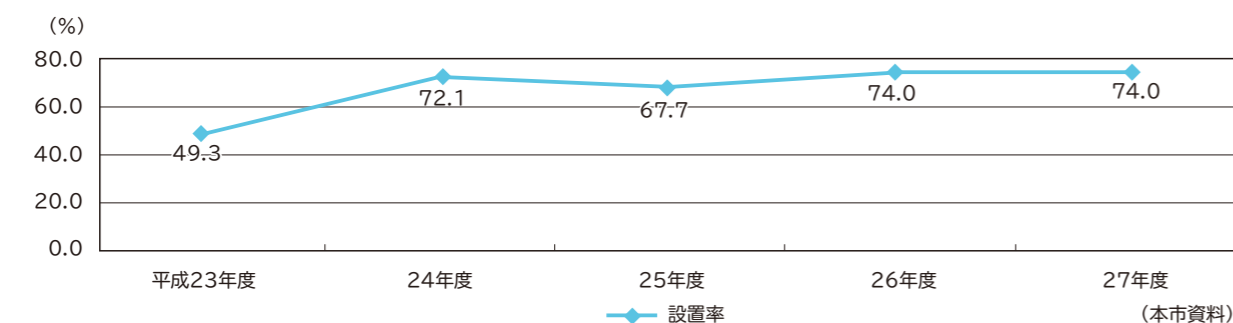
### ■救急の出場件数及び搬送人員



### ■一般・普通救命講習の受講人数



### ■住宅用火災警報機の設置率



## 10年後の目標

多様な災害・火災に迅速に対応できる消防体制と高齢化等のニーズに対応した救急体制が確立され、市民による防火防災活動や救急救命処置が充実するなど、市民の生命と財産を守る環境が整っています。

## 10年後の目標に向かっての主な取組み

### 市の取組み

- 市民や事業所に対する防火指導や立入検査を行い、防火保安体制の強化に取り組みます。
- 消防職員・消防団員の訓練、消防指令システムの更新、消防機械器具の整備など、人材育成と設備の充実に努めます。
- 救急医療相談窓口である「救急安心センターおおさか」の利用促進を図ります。
- 救急車の適正利用について、市民に啓発します。
- 消防団組織の強化と防火・防災資器材の充実を図ります。
- 大規模災害等に備え、消防広域連携に取り組みます。

### 市民・団体・事業所等の取組み

- 消防訓練や救急講習に積極的に参加し、防火対策や災害時の初動、応急処置などの理解を深め、被害軽減に取り組みます。
- 病气やけがの状態に応じて救急車を適正に利用します。
- 消防関係団体は火災予防・防災活動の啓発に取り組みます。
- 事業所は防火管理体制の維持強化や消防訓練を行います。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 9 安心できる地域医療体制を構築する	○救命率の向上のため、医療機関との連携を図る。
施策 15 災害に強いまちをつくる	○災害発生時、消防・救急活動を迅速かつ安全に実施する。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
救急救命士数	救急救命士の資格を有する消防職員の人数	24人 (平成27年度)	↑
普通救命講習受講者数	消防本部が実施する救命講習会を受講した人数	850人 (平成27年度)	↑
住宅用火災警報機の設置率	一般住宅のうち住宅用火災警報器設置済みの住宅	74.0% (平成27年度)	↑

分野別計画等：消防計画、貝塚市救急業務高度化推進計画

## 施策17 地域ぐるみで防犯に取り組む

### 現状と課題

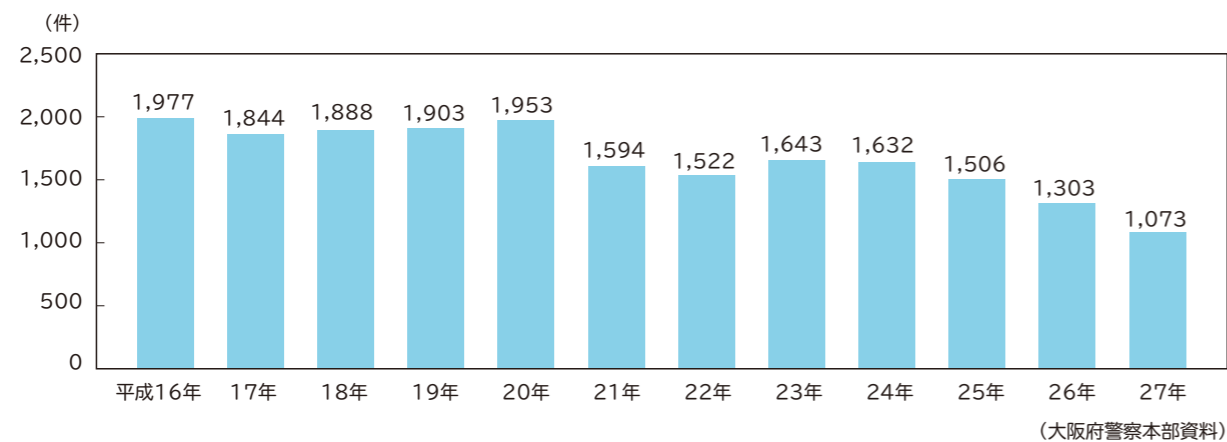
本市の刑法犯罪認知件数は減少しているものの、街頭犯罪発生件数は増加傾向にあり、特に女性を狙った犯罪が増加しています。

全国各地で子どもに対する凶悪な犯罪が多発していることから、ボランティアによる子ども見守り活動や防犯カメラの設置など、地域における自主的な防犯活動が広がっています。

児童や高齢者、障害者等に対する虐待や家庭内での暴力など、周囲の目が届きにくい犯罪を抑止するため、より一層の啓発や相談体制の充実が求められています。

犯罪防止に向け、地域ぐるみの防犯対策を一層進めることが必要です。

#### ■貝塚市域刑法犯罪認知件数推移



### 10年後の目標

一人ひとりの市民が、日常生活の中で、犯罪への不安を感じることなく、安全で安心して暮らせるまちになっています。



見守り隊運動



ひったくり防止キャンペーン

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 貝塚警察署や防犯協議会と連携し、地域や学校を対象とした防犯出前講座の開催や、市のホームページ・広報紙などを通じ、街頭犯罪や特殊詐欺の被害に遭わないための啓発活動を強化します。
- 市内全小学校区ごとに地域安全センターを設置し、大阪府との連携により、地域での安全確保への取組みを強化します。
- 不審者情報など、地域で発生した事件の情報収集や情報伝達について、市民との双方向通信型のコミュニケーションづくりに努めます。
- 防犯カメラやLED防犯灯の設置を促進し、犯罪を発生させない環境をつくります。
- 子ども見守り隊など、地域防犯ボランティアとの連携を強化します。
- 児童や高齢者、障害者等に対する虐待やDV（配偶者や恋人などからの暴力）など、家庭内での犯罪を早期発見できるよう、相談体制の充実と市民への啓発を図ります。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 防犯に対する意識を高め、自衛に努めるとともに、子ども見守り隊など地域で行われる防犯活動へ積極的に参加します。
- 町会・自治会、事業所等は街頭犯罪抑止のための防犯カメラ設置を推進し、地域ぐるみで防犯意識の向上を図ります。
- 事業所は、事業所内における防犯活動の推進と勤労青少年の非行防止に努めます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 4 青少年が健全に成長し、活躍できる地域をつくる	○地域の防犯体制を整え、防犯教育を充実し、子どもが犯罪に巻き込まれることの防止や青少年の犯罪抑制につなげる。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
子ども見守り隊の登録者数	子ども見守り隊に登録している市民の人数	2,689人 (平成27年度)	↑
街頭犯罪発生件数	市内における街頭犯罪（ひったくり、窃盗など）発生件数	418件 (平成27年度)	↓



## 施策18 地域特性を生かした都市づくりを進める

### 現状と課題

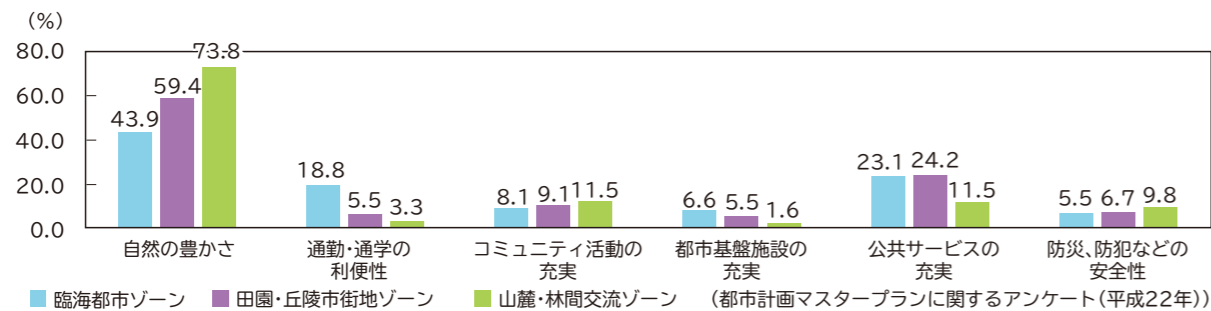
本市はこれまで、市街化調整区域での開発を抑制し、市街化区域の土地利用の高度化や低未利用地の有効利用を促進することで、市街地の拡大を図ってきました。

一方で、住宅密集市街地においては、未利用の空地や空き家等が存在していることなどから、その活用や良質な宅地水準の確保が求められています。

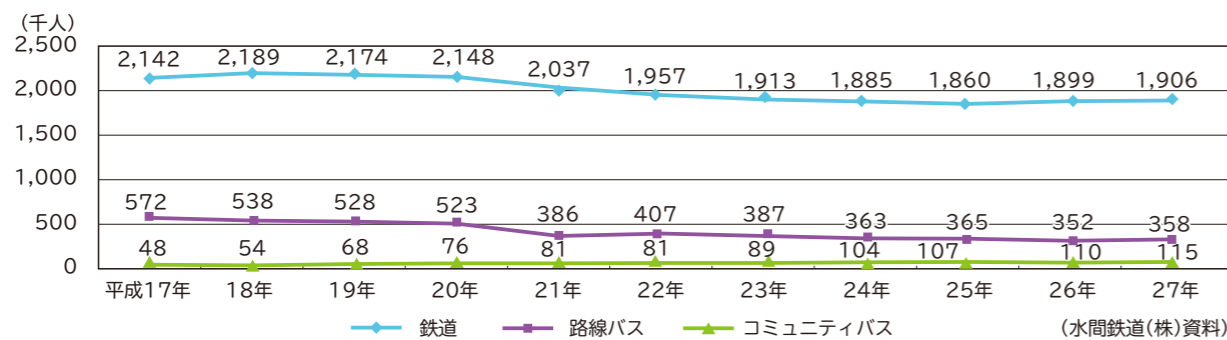
公共交通においては、大阪と和歌山の都市間を結ぶ南海本線とJR 阪和線、また海から山へ市内を縦断する水間鉄道といった鉄道網を有し、福祉型コミュニティバス（は～もに～バス）と路線バス（コスモライナー）が地域と施設及び鉄道駅間を運行しています。

今後は、道路・公園等の整備、公共交通などのネットワークの形成や、都市機能の適切な誘導など、高齢化・人口減少社会においても持続可能なまちづくりが必要です。

#### ■貝塚市の魅力や誇れるもの



#### ■輸送人員数の推移



### 10年後の目標

時代の潮流に合わせた柔軟な土地利用が行われ、地域特性を生かしたコンパクトなまちづくりや、交通ネットワークの形成等により、利便性が高く、良質な市街地が形成されています。

地域特性を生かした鉄道やバスなどの公共交通が整備され、居住者、来訪者ともに利便性が向上し、暮らしやすく、訪れやすい環境が整っています。

### 10年後の目標に向かっての主な取り組み

#### 市の取り組み

- 高齢化・人口減少社会において持続可能なまちを形成するため、将来都市像のマスタープランとなる立地適正化計画などの策定に取り組みます。
- 公共交通の活性化のため、水間鉄道を基軸とした公共交通網を形成します。
- 鉄道駅の周辺地域に都市機能を誘導し、コンパクトで機能的なまちづくりを行います。
- 市街化区域内において、適正な公共施設（道路、公園、広場等の公共空地等）や給排水設備等が整備された良質な市街地の形成に取り組みます。
- 「せんごくの杜」の利活用を進めるため、道路の整備を促進するなど利便性の向上を図ります。
- 住宅密集市街地における空地や空き家等の現状把握と有効活用に取り組みます。
- 利用者のニーズ等を踏まえながら、利用しやすいコミュニティバスの運行とともに、利用案内や運行状況の表示など利用者にわかりやすい情報提供に努めます。
- 市内の主要施設間のアクセス向上や駅及び駅周辺のバリアフリー化に取り組みます。
- 沿線町会・自治会、企業等と連携して、水間鉄道の利用促進に努めます。

#### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 行政との協働により、地域の課題などを共有した上で、地域の実情に即したまちづくりに協力します。
- 地域の貴重な交通手段を維持するため、公共交通機関を積極的に利用します。
- 交通事業者は、利用者の利便性向上や施設のバリアフリー化に努めます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策 10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる	○公共交通を維持することで、高齢者が安心して移動できるようにする。
施策 11 障害者(児)が自分らしく暮らせる地域をつくる	○公共交通の充実やバリアフリー化により、障害者(児)が安心して移動できるようにする。
施策 24 地球にやさしい暮らしを実践する	○公共交通を利用することで、地球環境にやさしい暮らしを実現する。
施策 25 商工業を振興しにぎわいと雇用を生み出す	○商業施設の誘導や商店街の活用を進めるなど、都市機能の集約を進める。
施策 29 地域の歴史的遺産を守り生かす	○歴史的景観に配慮したまちづくりを進める。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
地区計画の決定件数	地域特性を生かした計画的なまちづくりの指針となる地区計画を決定した件数	4件 (平成27年度まで)	↑

分野別計画等：都市計画に関する基本方針（貝塚市都市計画マスタープラン）

施策19

# 多様なニーズに合わせた 良好な住環境を確保する

## 現状と課題

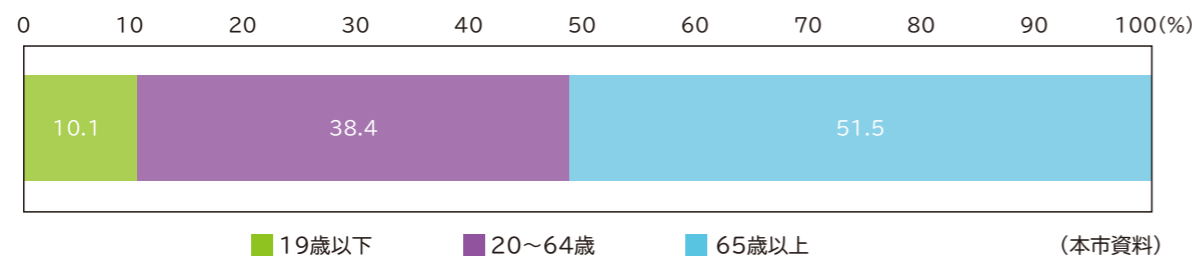
人口減少などにより、本市においても空き地・空き家が増加傾向にあるため、放置対策や有効な活用に向けた取り組みが求められています。

本市の利便性と良好な環境を生かした良質な住宅の建築・取得を促進することで、転入者の増加とまちの活性化を図ることが望まれます。

本市の市営住宅では、入居者の高齢化と単身者の増加が続いており、地域コミュニティの衰退が進んでいる状況です。また、築50年を超える木造住宅が数多く残っており、耐震性を満たしていない木造住宅の除却と周辺地域を含むまちの再生が急務となっています。

大規模な府営住宅が点在する本市において、市営住宅の管理戸数を適正化するとともに、空き室を有効に活用することにより、地域コミュニティを活性化することが必要です。

■市営住宅の年齢別入居者割合（平成27年3月）



## 10年後の目標

公営住宅、民間の賃貸・分譲住宅など、多様なニーズに応えられる住宅が確保され、新規移住者の受け皿や居住者が安心して住み続けられる環境が整っています。

市営住宅の管理戸数が適正なものとなり、市営住宅跡地に官民協働による新たなまちづくりが進んでいます。



東山住宅のまちなみ

## 10年後の目標に向かっての主な取り組み

### 市の取り組み

- 関係法令に基づき、民間住宅の開発行為に対する適切な指導を行います。
- 親世帯との三世帯同居・近居に対し、住宅取得やリフォームに伴う支援を行うことで、若年層のUターンを促すなど転入と定住の促進を図ります。
- 市営住宅の長寿命化や耐震化、バリアフリー化、LED照明設置など、適切な維持・管理を行います。
- 民間賃貸住宅借上げや、家賃低廉化支援など民間活力を使った市営住宅の管理戸数の適正化を行い、官民連携による市営住宅跡地の新たなまちづくりに取り組みます。
- 空き家除却補助制度や空き家バンク制度などにより、空き家対策に取り組みます。
- 空き家等を活用した新たな居住スタイルについて研究を行います。
- 空き家や余剰地を有効に活用し、地域コミュニティの醸成と周辺地域の活性化に取り組みます。

### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 空き家・空き地の適正な管理を行うとともに、有効な活用に努めます。
- 地域の団体やNPOなどは市との協働により良好なコミュニティの形成・維持に貢献できる空き家の活用を推進します。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策10 高齢者がいきいき暮らせる地域をつくる	○居住環境の向上やバリアフリー化により高齢者が安心して暮らせる住環境を形成する。
施策11 障害者（児）が自分らしく暮らせる地域をつくる	○居住環境の向上やバリアフリー化により障害者（児）が安心して暮らせる住環境を形成する。
施策15 災害に強いまちをつくる	○耐震化を促進し、安全で良好な住環境を形成する。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
高次診断の結果による市営住宅の耐震化実施率	現行の耐震基準以前（昭和56年5月31日以前）に建てられた市営住宅の耐震化の割合（但し、木造住宅等は除く）	50% (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市住宅マスタープラン、貝塚市営住宅長寿命化計画



## 施策20 安全で便利な道路交通環境をつくる

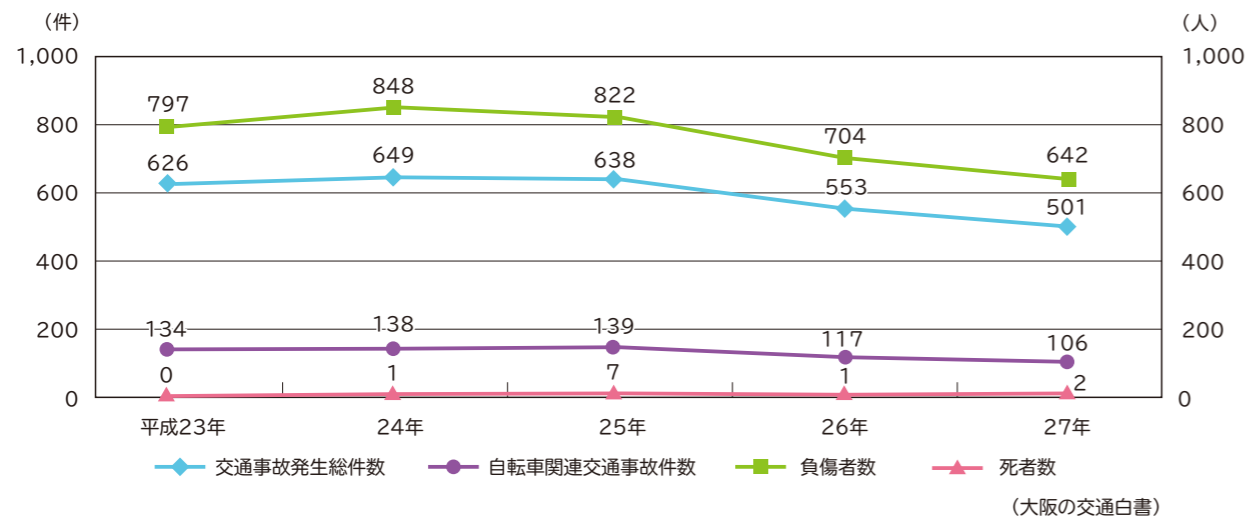
### 現状と課題

自動車への依存度が高くなっている中、丘陵地域から他市町への道路交通のさらなる利便性が求められるとともに、安全性や機能性向上のため、改善しなければならない生活関連道路が多数存在します。

また、高度経済成長期に設置された道路や橋梁の老朽化は深刻な課題であり、計画的な維持・補修による長寿命化を進める必要があります。さらに、まちの活性化と雇用を創出する企業誘致などを円滑に進めるためにも、泉州山手線などの都市計画道路の整備促進が必要です。

市内の交通事故及び死傷者数は減少傾向で推移していますが、高齢者や自転車が関連する交通事故が増加しており、交通ルールのさらなる啓発とともに、渋滞や事故多発箇所の改良、変則交差の改良など、安全で便利な道路交通環境の形成が求められています。

#### 市内交通事故件数の推移



### 10年後の目標

広域的な道路交通ネットワークの構築により、人や物の流れが効率化され、移動の利便性が高まっています。

生活関連道路の改修・整備や橋梁の長寿命化・耐震化が計画的に行われるとともに、歩行者や運転者の交通安全意識や交通マナーが高まり、安全で円滑な交通環境が保たれています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 歩道のバリアフリー化や既存道路の改良など、安全で利便性の高い道路環境の整備に取り組みます。
- 橋梁、道路の耐震化、長寿命化による安全な道路環境を確保します。
- 歩行者の安全確保のため、幅員が狭い道路は地元及び警察との協議により一方通行等の交通規制や、部分的な拡幅などを行います。また、歩道やカーブミラー、ガードレール、グリーンバルトなどの交通安全施設の整備を進めます。
- 警察と連携し、学校をはじめ、町会・自治会や各種団体などを対象に市内全体で交通安全教育を実施します。
- ICTを活用し、道路や橋梁の安全情報を市民と双方向で共有できるシステムの導入をめざします。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 道路の補修が必要な箇所などの情報を道路管理者に伝え、安全な道路環境の形成に協力します。
- 交通安全講習会などに積極的に参加し、交通安全に対する意識の高揚に努めます。
- 交通法規を遵守し、交通マナーを高めます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策15 災害に強いまちをつくる	○災害時の地域緊急交通路となる道路の維持管理を行う。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
交通事故発生件数	1年間の交通事故の発生件数	501件 (平成27年度)	↓
橋梁の長寿命化修繕件数	市内の橋梁の長寿命化修繕工事実施件数(累計)	0件 (平成27年度)	↑



グリーンバルト



交通安全キャンペーン

施策21

# 安全な水を安定して供給し、健全な水循環を維持する

## 現状と課題

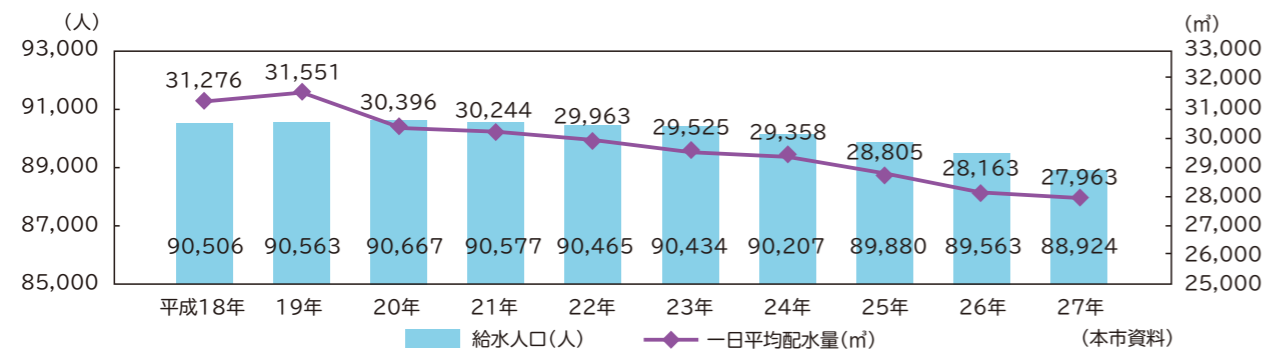
本市の水供給は、津田浄水場から供給する自己水と、大阪広域水道企業団からの受水がほぼ1：1の比率となっており、大規模災害が発生しても、自己水により必要な一定の水の確保が可能であるとともに、近隣市町より比較的安価な水道料金となっています。

水道普及率はほぼ100%となっていますが、近年、人口減少や世帯の小規模化、また節水意識の普及、家電等の節水機能の向上などにより、配水量は減少傾向にあり、今後も、水需要は減少傾向が続くと予想されます。

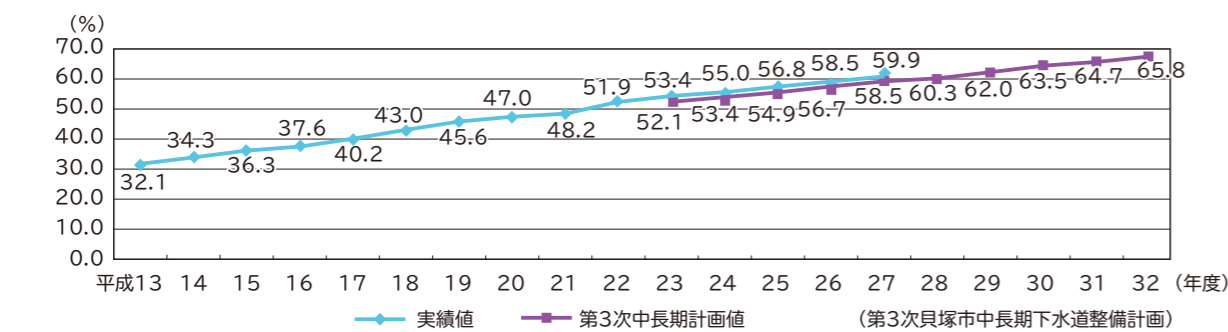
また、本市の汚水処理人口普及率は平成27年度末現在59.9%であり、良好な公共用水域を確保するためには、下水道整備の推進とともに合併処理浄化槽の普及促進も併せて行う必要があります。

管路や施設の経年劣化が進行しており、下水道施設の改修や耐震化、適切な維持管理と下水道事業の経営安定化を図る必要があります。

### 給水人口及び一日平均配水量



### 下水道普及率の推移



## 10年後の目標

常時、安定して安全・安心な水道水を供給できる状態が維持されています。

下水道施設の計画的な整備と維持・管理により、市民の衛生的な生活と良好な川や海などの公共用水域が確保されるとともに、公共下水道事業を安定的に運営することで、健全な水循環が維持されています。

## 10年後の目標に向かっての主な取組み

### 市の取組み

- 自己水と大阪広域水道企業団からの受水との割合を1：1に保ち、水源の二元化を堅持するため、浄水施設の整備・更新を行います。
- 人口減少社会の中で持続可能な水道事業を展開するため、将来ビジョンを策定し、アセットマネジメント（資産管理）の考え方に基づく施設の適正管理を行います。
- 災害に備え、上下水道管路や施設の耐震化・長寿命化を計画的に進めるとともに、マニュアルの整備や体制の充実に取り組みます。
- 投資効果の高い区域を優先し、事業の効率性の向上を図るとともに、建設コストを縮減するなど、新たな整備手法を検討しながら下水道施設の整備を進めます。
- 下水道事業は、地方公営企業法の適用を受け、損益情報、ストック情報等の経営情報を的確に把握し、適正な料金体制の設定、適正な投資及び改築・更新に取り組みます。
- 公共下水道の整備計画区域外や整備に期間を要する地域では、合併処理浄化槽の設置を引き続き補助し、普及を促進します。

### 市民・団体・事業所等の取組み

- 公共下水道が整備された地域の家庭や事業所は、速やかに下水への接続を行います。
- 公共下水道の整備計画区域外か、整備に期間を要する地域では、合併処理浄化槽の設置に努めます。
- 市民団体は河川などのクリーン活動を積極的に実施します。
- 水道事業関連事業者は災害発生時にできるだけ早い復旧を図るため、市との協力体制を強化します。

## 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策15 災害に強いまちをつくる	○管路や施設の耐震化により、災害時のライフラインを確保する。
施策23 潤いのある環境を守り生かす	○健全な水循環を維持することにより、自然環境を守る。

## 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
市内上水道管の耐震化率	耐震管が布設されている割合	25.6% (平成27年度)	↑
汚水処理人口普及率	下水道等にいつでも接続できるように整備された区域内の人口の割合	59.9% (平成27年度)	↑

分野別計画等：第3次貝塚市中長期下水道整備計画、貝塚市生活排水処理基本計画



## 施策22 良好な生活環境を保つ

### 現状と課題

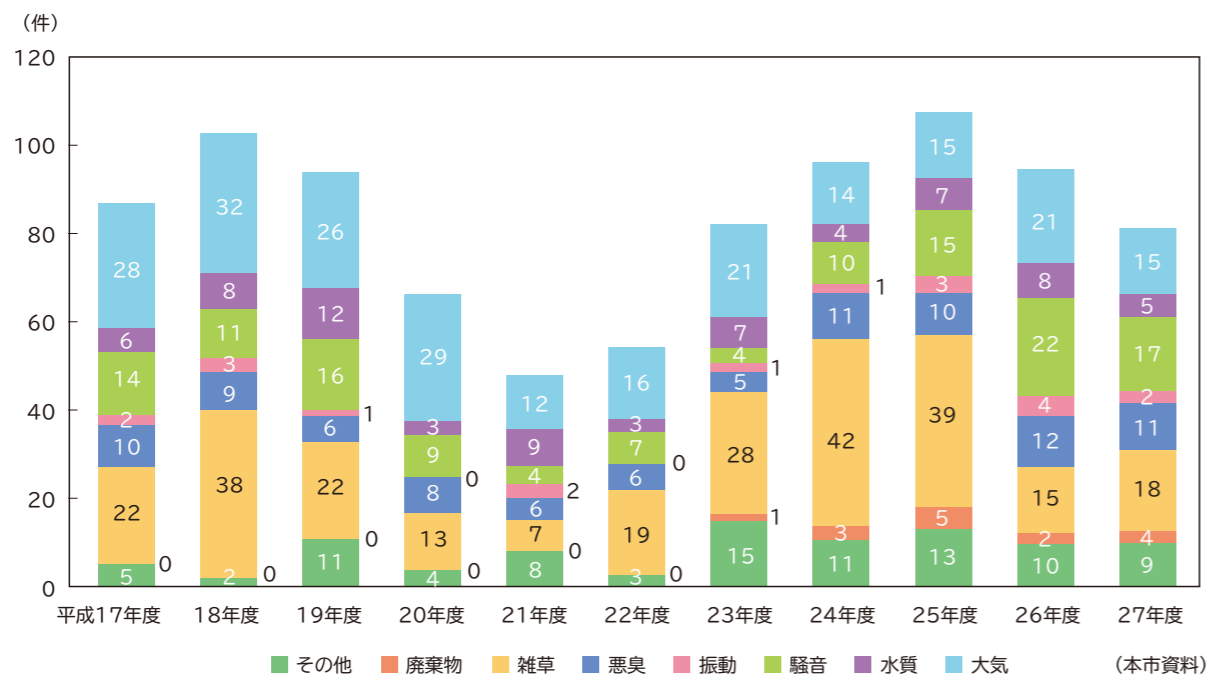
市民意識の向上により、ごみの量はピーク時に比べ約2割減少しましたが、ここ数年は微増傾向にあり、ごみの分別をさらに進めるだけでなく、できるだけごみを出さない生活習慣への転換が必要です。

近隣関係が希薄化する中、法規制を受けない生活騒音や空き地の雑草などに対する苦情の割合が高く、市民モラルの向上が求められています。

市民の健康をおびやかす環境汚染の状況を的確に把握し、異常が確認された場合には、迅速に情報提供を行うなど、対策を講じることが必要です。

下水道未普及地域を抱える本市において、し尿処理施設の老朽化が課題となっており、広域連携を視野に入れた処理方法について検討する必要があります。

#### ■公害苦情受理件数の推移



### 10年後の目標

ごみがきちんと分別され、資源循環が図られるなど、環境にやさしい市民の生活習慣が定着しています。

市民や企業の理解と協力のもと、良好かつ快適な生活環境が保たれています。

生活衛生に関する施設が適切に維持・管理されており、利用者のニーズに対応しながら安定的に運営されています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- ごみを出さない生活習慣が定着するよう、市民や事業者に啓発を図ります。
- 不法投棄防止用監視カメラの増設、パトロールの強化に取り組みます。
- 災害時の防疫業務の体制整備や災害廃棄物処理計画策定を行います。
- 工場や事業所からの環境汚染に対して、適切な指導や必要となる対策を強化します。
- 法規制に該当しない公害については、市民及び事業者への啓発活動を充実します。
- 斎場や市営墓地、衛生事業所など生活衛生施設は、広域連携も視野に入れながら適正な維持管理を行います。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 資源の再利用と適正なごみ排出の知識を高め、ごみの減量化と分別に努めます。
  - 町会・自治会での町内清掃や環境保護活動、資源ごみの再資源化に取り組みます。
  - 生活排水による汚染や生活騒音による近隣への迷惑を可能な限り低減します。
  - 事業所は積極的なごみの減量化と分別を図ります。
  - 事業者は地域コミュニティの一員として公害発生の抑止に努めるとともに清掃活動やアドプト・プログラム※に積極的に取り組みます。
- ※アドプト・プログラム：道路や河川、公園など市が管理する公共施設の一定区間を市民団体や企業が市に代わって担当し、清掃活動などを実施する事業。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策21 安全な水を安定して供給し、健全な水循環を維持する	○適切なし尿処理により、公共用水域に影響を与えない。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
ごみ排出量	市民一人1日あたりの生活系ごみの排出量	681g/人日 (平成26年度)	↓

分野別計画等：第3次貝塚市中長期下水道整備計画、貝塚市生活排水処理基本計画、貝塚市一般廃棄物処理基本計画、貝塚市一般廃棄物処理実施計画



環境学習



岸和田市貝塚市クリーンセンター

## 施策23 潤いのある環境を守り生かす

### 現状と課題

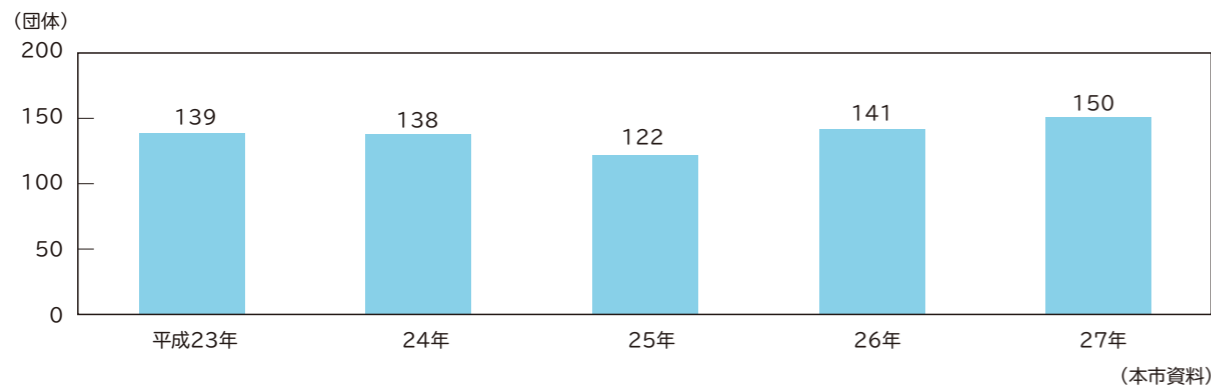
本市は一部が金剛生駒紀泉高原国定公園内に位置し、国の天然記念物である和泉葛城山のブナ林や、生物多様性保全上重要な里地里山に指定された蕎原・大川・稲谷地区、点在するため池群があるほか、二色の浜は海水浴場として有名であり、市内には海・山ともに豊かな自然や生物多様性が確保されています。

こうした本市の自然を調査・研究、展示する市立自然遊学館、自然体験施設として大阪府立少年自然の家があり、学習・体験する環境が整っています。

本市の市民一人当たりの公園面積は約8㎡であり、都市公園条例で定める標準面積10㎡を下回るものの、市街地に居住する市民一人当たりの標準面積5㎡を上回る水準で整備されており、アドプト・プログラム事業により、市民、団体、事業所等による美化活動も行われています。

こうした恵まれた自然環境や身近な緑・水辺空間を守り、生かしていくためには、地域住民や関係団体による環境保護、環境美化活動などの主体的な取り組みが必要です。

#### 環境美化活動参加団体数の推移



### 10年後の目標

市民の参加により、豊かな自然が守られ、生物多様性が確保されているとともに、公園や緑地などの身近な潤い空間が管理され、まち全体が美しく保たれることで、誰もが潤いを感じることができる環境が整っています。

### 10年後の目標に向かっての主な取り組み

#### 市の取り組み

- 「緑の基本計画」を改定し、公園施設の統合を含め、現状に即した効率的な公園の整備、維持・管理を行います。
- 自然環境の保護につながる市民活動への積極的な支援を行うとともに、自然環境保護意識の向上のため、地域と連携し、環境学習の機会を増やします。
- 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会とともにブナ林の保護増殖を進めます。
- 「せんごくの杜」では、市民との協働により散策路を整備するなど、里山の保全に努めます。
- 都市部のため池オアシスを充実させ、市民の憩いの場となるよう整備します。
- 環境美化活動及びアドプト・プログラムに、より多くの市民や団体及び事業所等に参加してもらうよう、周知、啓発に努めるとともに継続的な活動につなげます。
- 国の都市農業振興基本計画に基づき、都市農地を貴重な緑地として位置づけ、担い手への支援や市民農園の推進等により、都市農地の保全に取り組みます。
- 自然遊学館の行事として、魅力ある自然観察会や自然環境保護に興味を持つ人を増やす講座を充実し、環境保全に取り組む人材を育成します。

#### 市民・団体・事業所等の取り組み

- 自然保護のためのボランティア活動へ積極的に参加します。
- 地域コミュニティ活動の一環として、市と連携して公園や道路の管理に長期的に取り組みます。
- 農業者とともに行う清掃美化活動などを通じ、貴重な空間である都市部の農地やため池の保全に努めます。
- 市民農園での農作業体験などを通じ、農業への理解を深めます。
- 団体等は河川や海浜部の環境保全活動に大阪府、市と連携して取り組みます。

### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策15 災害に強いまちをつくる	○山林を守ることで、土砂災害等の発生を抑制する。
施策33 市民参加による協働のまちづくりを進める	○環境美化等を通じて、市民が主体性を持ち、協働のまちづくりに取り組む。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
公園施設更新率	公園の遊具のうち、快適に利用できるよう、設備の更新を行っている遊具の割合	30% (平成27年度)	↑
アドプト・プログラム事業参加団体数	アドプト・プログラム事業への参加団体数	6団体 (平成27年度)	↑

分野別計画等：貝塚市緑の基本計画



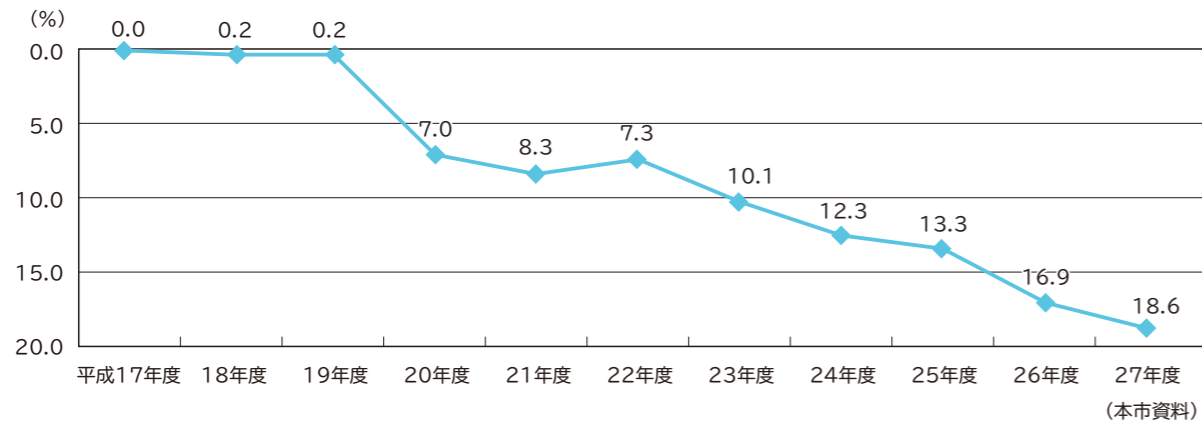
## 施策24 地球にやさしい暮らしを実践する

### 現状と課題

本市はこれまで、貝塚市地球温暖化対策実行計画に基づき、行政活動の全般にわたり省エネルギー活動を通じて温室効果ガスの削減を図るとともに、市民の地球温暖化問題への意識の高揚に取り組んできました。

今後も、行政活動のみならず、事業所活動や市民生活においても省エネルギーとともに温室効果ガスの削減に向けた取組みをさらに推進するため、環境問題に気づき、意識を高め、行動につなげることが必要です。

#### ■公共施設からのCO<sub>2</sub>削減率の推移



### 10年後の目標

企業活動や市民生活全般において省エネルギーの意識が浸透し、低炭素なライフスタイルが実践されています。

公共施設からのCO<sub>2</sub>排出量が削減目標を達成しており、市域からのCO<sub>2</sub>排出量も減少しています。

### 10年後の目標に向かっての主な取組み

#### 市の取組み

- 省エネルギーと地球温暖化対策に率先して取り組み、情報発信を行います。
- 自然エネルギーの利用促進や家庭での省エネ推進に向け、太陽光発電や省エネ機器など効率的なエネルギー利用に対する支援を行います。
- 環境に関する情報発信を充実し、地球環境問題に一人ひとりの力で取り組む意識を醸成します。
- 市と市民、各種団体、事業者で構成される地球温暖化対策協議会を設置し、地球温暖化対策を推進します。

#### 市民・団体・事業所等の取組み

- 家庭での省エネ機器や低燃費車への転換、公共交通機関の利用など、環境に配慮したライフスタイルの実践をめざします。
- 事業者はISO規格の取得やエネルギー利用の効率化など、循環型社会への取組みを推進します。

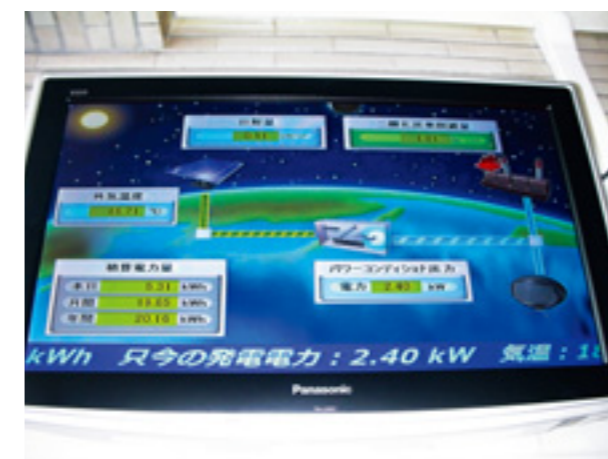
### 主な関連施策

施策名	関連する内容
施策23 潤いのある環境を守り生かす	○地球環境の保護を通じ、身近な自然環境・景観を保全する。

### 成果を測る主な指標

指標	概要	現状	方向性
市全体のCO <sub>2</sub> 排出量	市内で1年間に排出される二酸化炭素の量	579千t (平成25年度)	↓

分野別計画等：貝塚市地球温暖化対策実行計画



浜手地区公民館太陽光パネルモニター



グリーンカーテン（市民福祉センター）